

日出生台演習場におけるオスプレイ飛行に関する情報提供体制の改善について(要請)

2026年3月13日早朝、オスプレイ2機が湯布院盆地上空を通過し、日出生台演習場に飛来し、湯布院盆地上空を含めて約1時間にわたって離着陸と旋回飛行を繰り返す訓練が行われました。この飛行について、3月19日に由布市への申し入れを行い、事前情報の伝達状況について確認を行いました。

その結果、

- ・事前に詳細情報が提供されない
- ・行政も直前まで把握できない
- ・住民への周知が困難である

という状況が確認されました。

これらを踏まえると、現行の情報提供の仕組みでは、住民が飛行を事前に把握できない状態が生じ得ます。この場合、住民は自らの判断で回避や調整を行うことができず、生活への影響を事前にコントロールすることができないこととなります。

本来、オスプレイについては、その安全性に対する懸念が繰り返し指摘されており、私たちとしては、その飛行自体が行われないことが望ましいと考えています。しかしながら、現実には飛行が行われる状況を踏まえた場合、少なくとも住民が事前に状況を把握できる状態が確保されることが必要なのではないのでしょうか。

以上の観点から、由布市において必要な確認および関係機関への働きかけを行っていただくよう、以下の点について要請します。

■ 要請事項

1. 機種(オスプレイを含む)の事前明示
2. 飛行時間および飛行ルートに関する情報提供
3. 住民への周知が可能となる時間的余裕の確保
4. 早朝および人口密集地上空の飛行回避

本要請は、生活圏上空での飛行訓練の影響を受ける当事者、住民に対して、少なくとも事前に状況を把握できる状態が確保されるよう、改善を求めるものです。

2026年3月31日

ローカルネット大分・日出生台 (事務局 浦田龍次 090-7580-8031)